

第12回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 7月2日（水）
テーマ 道徳の大切さ
参加者 北原 新造さん
長船 毅さん
福田 幸夫さん
柴田 美智子さん

道徳の大切さを地域に伝える活動を行っている会の皆さんと市長が意見交換を行いました。



参加者 心づくりなど、道徳について市民の皆さんに伝える活動をもっと広げていきたいと思っています。

市長 P T Aや公民館の活動、生涯学習人財バンクなどで、道徳の大切さを講演していただくことができます。地域教育力の向上を目指した取り組みを一緒に行いましょう。

参加者 ある小学校で、児童の授業態度が悪くなった時、P T Aや町内会などが、学校訪問を行うことで、児童が落ち着いたということがありました。また、ある中学校では、現在、授業時間になっても教室に入らない生徒がいると聞きます。このような問題を学校だけの問題にしないで、地域ぐるみで道徳教育を行って子どもや親の心づくりを進め、問題を解決していくことが大切です。

市長 問題によっては、学校を地域に開放することで、子どもや親が本気になり、事態が収束していくことがあると思います。子どもたちには、授業や地域活動全般を通して、感謝の心や自立の心などを身に付けてほしいですね。

参加者 子どもに対する親の悩みは、幼児期だけでなく、高校・大学へ進学した後も尽きません。親の心のケアを行う会を開催していますが、参加は多くないのが実情です。

市長 内容や情報発信の方法など、参加してみたいと思わせるような仕組みづくりが大切ですね。

参加者 経営者に対しても、自己の利益だけでなく、社会貢献など、道徳的な理念を持つことが大切であることを伝えたいです。

市長 市内の商工業の団体などに、活動を紹介していきたいと思っています。